

献 辞

長年にわたり関西大学商学部、および商学会のために尽くされた末政芳信先生は、1997年6月25日めでたく古稀の寿を迎えられました。

播州赤穂近郊において生を受けられた先生は、姫路商業学校、本学専門部商科を経て、同商学部、同大学院経済学研究科に学ばれた後、1953年6月本商学部助手として任用され、専任講師、助教授を経て1968年4月教授に昇進、現在に至っております。その間、教育、研究の面においてはいうまでもなく、大学および学部の運営に関しても、多大の貢献をされてこられました。1976年10月から1年間商学部長を務められた後、1984年10月から1年間は大学院部長、1988年10月から4年間、学校法人関西大学評議員を務められるなど、大学全体に関わる要職を歴任されております。

若くして会計学に目覚められた先生は、大学在学中に公認会計士2次試験に合格されるなど、早くからこの分野での才能を開花され、本商学部における会計学の重鎮として、教育、研究に携わってこられました。長年にわたり「管理会計論」を担当され、実業界あるいは学界に数多の俊英を送り出されてこられました。ご専門の会計学に関する研鑽の成果は、幾多の著書論文をもって世に問われ、日本公認会計士協会、日本会計研究学会より賞を受けるなど斯界での高い評価を受けており、1983年関西大学より商学博士の学位を受けておられます。また、日本会計研究学会理事など多くの学会で要職を歴任され、斯学の発展に大いに寄与されてこられました。

いつも穏やかな笑顔を絶やさず、細やかな気配りをもって、私どもを励ましてこられた先生も、1998年3月末をもって関西大学を定年退職されることとなります。今後ともますますご健勝にして、商学部、商学会の発展のために、ご指導、ご鞭撻いただくよう願っております。私たちは、ここに先生のご古稀を記念して『商学論集』の特集号を刊行し、足跡を回顧いたしますとともに、心からの感謝の意を表します。

1997年10月10日

商学部長 永 沼 博 道